

令和5年度 都立東久留米総合高等学校 定時制 年間授業計画

| 教科 | 科目 | 対象 年次・クラス | 単位数 | | |
|-------------|---|---|---|------------------|------|
| 国語 | 現代文B | 3年次 A B | 2 | | |
| 使用教科書 | 使用教科書 :新編現代文B(大修館書店) | | | | |
| 補助教材等 | 漢字練習問題など | | | | |
| 身に付けていく力: | 基本的な漢字を使用する力 物事の見方、考え方を広げる力 自他の意見を認め合う力 | | | | |
| 学期 | 月 | 単 元 | 指 導 目 標 | 評価の観点・方法 | 予定時数 |
| 1 学 期 | 4月 | どんな人になりたかったか？(大江健三郎) | ①筆者が理想とする人間像を読み取る。 ②読み取ったことを踏まえて、自分が「どんな人になりたかったか」「どんな人になりたいか」を書く。 | 授業への取組み、提出物 | 6 |
| | 5月 | ひかりのどけき春の日に——日本人と桜(森本哲郎) 夢を建てる人々(林望) | ①古来日本人がどのような思いで桜を愛でていたのかを読み取り、作者ごとに整理する。 ②桜を詠んだ詩歌や俳句を集め、発表する。 ①生き生きと働く宮大工の様子や彼らの仕事に対する気概を読み取る。 ②自分の夢について文章を書く。 | 授業への取組み、提出物、定期考査 | 8 |
| | 6月 | 待合室(内海隆一郎) 和の思想、間の文化(長谷川權) | ①江田先生や山崎さんなど、登場人物の人間像やそれぞれの心情を読み取る。 ②ストーリー展開の工夫を理解する。 ①日本文化に通底する「和」やそれを支える「間」について、筆者の考えを理解する。 | 授業への取組み、提出物 | 8 |
| | 7月 | 殺し文句は永遠に——恋する伊勢物語(俄万智) | ①伊勢物語第六段の内容と、それを筆者がどのように感じているかを読み取る。 | 授業への取組み、提出物、定期考査 | 6 |
| | 8月 | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | おぼろ月(藤沢周平) 幸せの分量(立松和平) | ①風俗の描写など、時代小説の魅力を味わう。 ②おさとの心情が、何をきっかけにどのように変化したのかを読み取る。 ①現代社会における幸せとは何かについて、筆者の主張を読み取る。 ②読み取ったことをもとに、仕事と人生について考えを深め、文章をまとめる。 | 授業への取組み、提出物 | 8 |
| | 10月 | 短歌・俳句 稼ぐだけが目的か(坂東眞理子) | ①短歌・俳句の特色を理解し、鑑賞の態度や方法を学ぶ。 ①労働に対する報酬の意味や、社会的な恩恵と奉仕の関係について筆者の考えを理解する。 | 授業への取組み、提出物、定期考査 | 8 |
| | 11月 | ころも(夏目漱石) | ①場面ごとの登場人物の心情とその変化、登場人物の人物像を読み取り、作品の主題を考える。 ②表現上の工夫を読み取り、その効果を考える。 | 授業への取組み、提出物 | 8 |
| | 12月 | 鉄を削る(小関智弘) | ①旋盤工たちの仕事に対する姿勢や思いを読み取る。 ②仕事上の技術や智慧、工夫などについて、調べて発表する。 | 授業への取組み、提出物、定期考査 | 8 |
| 3 学 期 | 1月 | 家族化するペット(山田昌弘) | ①ペットの家族化が示す現代社会の様相を読み取る。 ②読み取ったことをふまえて、社会の変化に対する自分の考えをまとめる。 | 授業への取組み、提出物 | 6 |
| | 2月 | 「検索」時代における読書(藤原智美) | ①「検索」時代の利点と問題点について理解し、筆者の主張をとらえる。 ②読み取ったことをふまえて、読書の意義について自分の意見をまとめる。 | 授業への取組み、提出物 | 6 |
| | 3月 | 星の王子さま(サン・テグジュペリ) | ①登場人物のせりふが象徴する内容について考えを深め、作品の魅力を味わう。 | 授業への取組み、提出物、定期考査 | 6 |
| | | | | 合計時間数 | 78 |
| 1年間の評価法 | 授業への出席、授業中の取組みの様子、試験、課題・提出物等により、総合的に判断する。 | | | | |
| 特記事項等 | | | | | |

令和5年度 都立東久留米総合高等学校 定時制 年間授業計画

| 教科 | 科目 | 対象 年次・クラス | 単位数 | | |
|-------------|---|--------------------|--|--------------------|----------|
| 地歴 | 世界史A | 4修3年 | 2 | | |
| 使用教科書 | 明解 世界史A(帝国書院) | | | | |
| 補助教材等 | 教科書、プリントなど | | | | |
| 身に付けていく力: | 歴史を多角的・多面的にとらえる思考力 異文化を理解し他者と共生する力 過去から現在にいたる人類の課題を知り、取り組む力 | | | | |
| 学期 | 月 | 単 元 | 指 導 目 標 | 評価の観点・方法 | 予定 時数 |
| 1 学 期 | 4月 | 文明のはじまり | ・世界史の基本事項を周知させる。 ・人類の始まりについて理解させる。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 6 |
| | 5月 | 前近代の諸文明(1) | ・四大文明について学ばせる。 ・東アジアの文明について理解させる。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 8 |
| | 6月 | 前近代の諸文明(2) | ・南アジアの文明について理解させる。 ・オリエントの古代文明について学ばせる。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 8 |
| | 7月 | 前近代の諸文明(3) 前近代の諸文明 | ・ヨーロッパ文明の源流について理解させる。 ・ローマ帝国の興亡とキリスト教について学ばせる。 ・東西にヨーロッパが分かれたことを理解させる。 ・教皇の強大な権力と十字軍遠征について学ばせる。 | 授業態度、小テスト、提出物、定期考査 | 6 |
| | 8月 | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 一体化に向かう世界(1) | ・ルネサンスについて理解させる。 ・大航海の始まりについて学ばせる。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 8 |
| | 10月 | 一体化に向かう世界(2) | ・イギリス革命とフランス絶対王政について理解させる。 | 授業態度、小テスト、提出物、定期考査 | 8 |
| | 11月 | 欧米の工業化とアジア諸国の動揺(1) | ・イギリスから独立するアメリカについて学ばせる。 ・フランス革命について理解させる。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 8 |
| | 12月 | 欧米の工業化とアジア諸国の動揺(2) | ・ナポレオンからウィーン体制について理解させる。 ・産業革命と資本主義の発展について学ばせる。 | 授業態度、小テスト、提出物、定期考査 | 8 |
| 3 学 期 | 1月 | 現代社会の芽生えと世界大戦(1) | ・世界の分割を進めた帝国主義について理解させる。 ・ドイツの挑戦と第一次世界大戦について学ばせる。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 6 |
| | 2月 | 現代社会の芽生えと世界大戦(2) | ・ヴェルサイユ体制と世界恐慌について学ばせる。 ・世界恐慌とファシズムの台頭について理解させる。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 6 |
| | 3月 | 現代社会の芽生えと世界大戦(3) | ・第二次世界大戦について学ばせる。 ・戦後の社会と新たな対立について理解させる。 | 授業態度、小テスト、提出物、定期考査 | 6 |
| | | | | 合計時間数 | 78 |
| 1年間の評価法 | 授業への出席、授業中の取組みの様子、試験、課題・提出物等により、総合的に判断する。 | | | | |
| 特記事項等 | | | | | |

令和5年度 都立東久留米総合高等学校 定時制 年間授業計画

| 教科 | 科目 | 対象 年次・クラス | 単位数 | | |
|-----------|---|--------------------|---|--------------------|------|
| 地歴 | 日本史A | 3B | 2 | | |
| 使用教科書 | 高等学校 改訂版 日本史A 人・くらし・未来(第一学習社) | | | | |
| 補助教材等 | 教科書、プリントなど | | | | |
| 身に付けていく力: | 歴史を多角的・多面的にとらえる思考力 日本の歩みを捉え、整理する力 | | | | |
| 学期 | 月 | 単 元 | 指 導 目 標 | 評価の観点・方法 | 予定時数 |
| 1 学期 | 4月 | 日本の歩みをふりかえろう | ・日本の成り立ちから江戸時代中期までの流れを理解する。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 6 |
| | 5月 | 近代への胎動 | ・せまってくる外国船と近代思想のいぶきについて理解する。 ・揺らぐ幕藩体制について理解する。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 8 |
| | 6月 | 開国と幕末の動乱 | ・ペリー来航から新政府樹立までの流れを理解する。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 8 |
| | 7月 | 近代国家の形成(1) 近代国家の形成 | ・明治維新の流れと意義について理解する。 | 授業態度、小テスト、提出物、定期考査 | 6 |
| 8月 | | | | | |
| 2 学期 | 9月 | 国際関係の推移と近代産業の発展(1) | ・日清戦争と日露戦争について理解する。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 8 |
| | 10月 | 国際関係の推移と近代産業の発展(2) | ・アジアへの勢力拡大が始まり、国家主義が台頭したことを理解する。 | 授業態度、小テスト、提出物、定期考査 | 8 |
| | 11月 | 第一次世界大戦と日本 | ・最初の世界大戦に日本も参加したこと、その影響について理解する。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 8 |
| | 12月 | 第二次世界大戦と日本 | ・アメリカとの戦争とその後の日本社会について理解する。 | 授業態度、小テスト、提出物、定期考査 | 8 |
| 3 学期 | 1月 | 日本の再出発 | ・日本が様々な面で生まれ変わったことを理解する。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 6 |
| | 2月 | 独立後の政治と経済 | ・奇跡の高度経済成長と新たな戦争について理解する。 | 授業態度、小テスト、提出物 | 6 |
| | 3月 | 現代日本と世界 | ・日本経済の明暗について理解し、これからの日本について考える。 | 授業態度、小テスト、提出物、定期考査 | 6 |
| | | | | 合計時間数 | 78 |
| 1年間の評価法 | 授業への出席、授業中の取組みの様子、試験、課題・提出物等により、総合的に判断する。 | | | | |
| 特記事項等 | | | | | |

令和5年度 都立東久留米総合高等学校 定時制 年間授業計画

| 教科 | 科目 | 対象 年次・クラス | 単位数 | | |
|-----------|---|--|---|--|------|
| 保健体育 | 体育 | 3年次 | 2 | | |
| 使用教科書 | 最新高等学校保健体育改訂版(大修館) | | | | |
| 補助教材等 | パワーポイント掲示資料、プリント 等 | | | | |
| 身に付けていく力: | 公正に取り組み、協力し、自己の責任を果たす力 健康・安全を確保し、運動を継続する力 | | | | |
| 学期 | 月 | 単 元 | 指 導 目 標 | 評価の観点・方法 | 予定時数 |
| 1 学期 | 4月 | オリエンテーション 体育理論 体づくり運動 | ・体育授業の心構え・注意事項(約束)を説明。 ・選択種目の内容説明と選択、グループ決め ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の適切な確保の仕方があることを理解する。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 6 |
| | 5月 | 種目選択 1.サッカー 2.バレーボール 3.テニス | ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 8 |
| | 6月 | 種目選択 1.サッカー 2.バレーボール 3.テニス | ・状況に応じたボール操作ができるようにする。 ・他と協力しながら球技を楽しみ、安全に留意しながら活動できるようにする。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 8 |
| | 7月 | 種目選択 1.サッカー 2.バレーボール 3.テニス | ・状況に応じたボール操作ができるようにする。 ・他と協力しながら球技を楽しみ、安全に留意しながら活動できるようにする。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 6 |
| | 8月 | | | | |
| 2 学期 | 9月 | 体育理論 種目選択 1.卓球 2.バドミントン 3.ソフトボール | ・技術は練習により技能として発揮できるようになることを理解させる。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 8 |
| | 10月 | 種目選択 1.卓球 2.バドミントン 3.ソフトボール | ・状況に応じたボール操作ができるようにする。 ・他と協力しながら球技を楽しみ、安全に留意しながら活動できるようにする。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 8 |
| | 11月 | 種目選択 1.バスケットボール 2.ニュースポーツ 3.陸上 | ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、ペースの変化に対応するなどして走ることができるようにする。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 8 |
| | 12月 | 種目選択口.バスケットボール口.ニュー | ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、ペースの変化に対応するなどして走ることができるようにする。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 8 |
| 3 学期 | 1月 | 体育理論 長距離走 球技種目 | ・運動機会や活動の場を条件とする自らのライフスタイルに適したスポーツとのかかわり方があることを理解する。 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、ペースの変化に対応するなどして走ることができるようにする。 ・自己に適したペースで一定時間走れるようにする。 ・各種球技の中から中から経験したいもの、より上達したいものを選択する。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 6 |
| | 2月 | 長距離走 球技種目 | ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、ペースの変化に対応するなどして走ることができるようにする。 ・自己に適したペースで一定時間走れるようにする。 ・各種球技の中から中から経験したいもの、より上達したいものを選択する。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 6 |
| | 3月 | 長距離走球技種目 | ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、ペースの変化に対応するなどして走ることができるようにする。 ・自己に適したペースで一定時間走れるようにする。 ・各種球技の中から中から経験したいもの、より上達したいものを選択する。 | 参加意欲・態度、種目特性に応じた技能や体力、知識・理解を練習・ゲーム・実技テストなど | 6 |
| | | | | 合計時間数 | 78 |
| 1年間の評価法 | 授業への出席、授業中の取り組みの様子、実技テスト、課題・提出物等により、総合的に判断する。 | | | | |
| 特記事項等 | | | | | |

令和5年度 都立東久留米総合高等学校 定時制 年間授業計画

| 教科 | 科目 | 対象 年次・クラス | 単位数 | | |
|-------------|--|---|---|-------------------|----------|
| 英語 | コミュニケーション英語Ⅱ | 3A | 2 | | |
| 使用教科書 | VISTA English Communication II New Edition (三省堂) | | | | |
| 補助教材等 | 「英単語ターゲット1200 改訂版 書き覚えノート」、プリント 等 | | | | |
| 身に付けていく力: | 基礎的な英語コミュニケーション力 英語圏の文化の理解 | | | | |
| 学期 | 月 | 単 元 | 指 導 目 標 | 評価の観点・方法 | 予定 時数 |
| 1 学 期 | 4月 | Lesson 1 ・疑問詞で始まる節 ・ifで始まる節 | ・疑問詞やifで始まる節を用いて、疑問の表現や「～であるかどうか」であることを伝えられるようにする。 ・セリフとして表現される英語と日本語の違いに注意させる。 | 授業態度、提出物 | 6 |
| | 5月 | Take a Break! 1 ・読み物「ののちゃん」の英会話に親しむ | ・英語のコミュニケーション表現と、日本語のコミュニケーション表現の微妙なニュアンスの違いに気付かせる。 | 授業態度、提出物、定期 考査 | 8 |
| | 6月 | Lesson 2 ・原級を用いた比較 ・比較級(-er than...) | ・比較の表現を用いて、色々な事象を比べて表現することができる。 | 授業態度、提出物 | 8 |
| | 7月 | ENJOY COMMUNICATION! 1 “What’s the Purpose of Your Visit?” ・入国審査の場面でのコミュニケーションの理解 | ・海外旅行における状況を想定して、入国手続きで頻繁に行われるコミュニケーション英語を学び、簡単なやりとりができるようになる。 | 授業態度、提出物、定期 考査 | 6 |
| | 8月 | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | Lesson 3 ・名詞を修飾する過去分詞 ・名詞を修飾する現在分詞 | ・過去分詞と現在分詞を使い分けられるようにする。 | 授業態度、提出物 | 8 |
| | 10月 | Lesson 4 ・知覚動詞(see+名詞+現在分詞) ・tell ~ to do | ・知覚動詞の形に慣れさせる。 ・tell ~ to doなどの形に慣れさせる。 | 授業態度、提出物、定期 考査 | 8 |
| | 11月 | ENJOY COMMUNICATION! 2 “How Do We Get There?” ・交通手段や所要時間についてのコミュニケーション活動 | ・外国の人々から道などを尋ねられた時に、目的地までの交通手段や所要時間についての簡単なやりとりができるようにする。 | 授業態度、提出物 | 8 |
| | 12月 | Look and Learn 2 ・文法のみまとめ (現在分詞・過去分詞を用いた色々な 用法や tell+人 to doの表現) | ・過去分詞と現在分詞を使い分けられるようにする。 ・知覚動詞の形に慣れさせる。 ・tell+人 to doの表現などの形に慣れさせる。 ・言語材料を体系的に整理させる。 | 授業態度、提出物、定期 考査 | 8 |
| 3 学 期 | 1月 | Reading Skill 2 ・必要な情報を見つける(スキヤニング) | ・スキヤニング(英文の中から必要な情報を素早く見つけ出すこと)により、キーワードや情報を適切に抜き出せるようにする。 | 授業態度、提出物 | 6 |
| | 2月 | Lesson 5 ・使役動詞 ・関係代名詞what(what+主語+動詞) | ・使役動詞の形に慣れさせる。 ・関係代名詞whatの使い方に慣れさせる。 | 授業態度、提出物 | 6 |
| | 3月 | Take a Break! 3 「イディオムクイズ」 ・英語のイディオムを知る | ・4つの英文を読み解き、各センテンスに用いられているイディオムの意味を想像して理解させる。 | 授業態度、提出物、定期 考査 | 6 |
| | | | | 合計時間数 | 78 |
| 1年間の評価法 | 授業への出席、授業中の取組の様子、試験、課題・提出物等により、総合的に判断する。 | | | | |
| 特記事項等 | | | | | |

令和5年度 都立東久留米総合高等学校 定時制 年間授業計画

| 教科 | 科目 | 対象 年次・クラス | 単位数 | | |
|-------------|--|---|---|-------------------|----------|
| 英語 | コミュニケーション英語Ⅱ | 3B | 2 | | |
| 使用教科書 | VISTA English Communication II New Edition (三省堂) | | | | |
| 補助教材等 | 「英単語ターゲット1200 改訂版 書き覚えノート」、プリント 等 | | | | |
| 身に付けていく力: | 基礎的な英語コミュニケーション力 英語圏の文化の理解 | | | | |
| 学期 | 月 | 単 元 | 指 導 目 標 | 評価の観点・方法 | 予定 時数 |
| 1 学 期 | 4月 | Lesson 1 ・疑問詞で始まる節 ・ifで始まる節 | ・疑問詞やifで始まる節を用いて、疑問の表現や「～であるかどうか」であることを伝えられるようにする。 ・セリフとして表現される英語と日本語の違いに注意させる。 | 授業態度、提出物 | 6 |
| | 5月 | Take a Break! 1 ・読み物「ののちゃん」の英会話に親しむ | ・英語のコミュニケーション表現と、日本語のコミュニケーション表現の微妙なニュアンスの違いに気付かせる。 | 授業態度、提出物、定期 考査 | 8 |
| | 6月 | Lesson 2 ・原級を用いた比較 ・比較級(-er than...) | ・比較の表現を用いて、色々な事象を比べて表現することができる。 | 授業態度、提出物 | 8 |
| | 7月 | ENJOY COMMUNICATION! 1 “What’s the Purpose of Your Visit?” ・入国審査の場面でのコミュニケーションの理解 | ・海外旅行における状況を想定して、入国手続きで頻繁に行われるコミュニケーション英語を学び、簡単なやりとりができるようになる。 | 授業態度、提出物、定期 考査 | 6 |
| | 8月 | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | Lesson 3 ・名詞を修飾する過去分詞 ・名詞を修飾する現在分詞 | ・過去分詞と現在分詞を使い分けられるようにする。 | 授業態度、提出物 | 8 |
| | 10月 | Lesson 4 ・知覚動詞(see+名詞+現在分詞) ・tell ~ to do | ・知覚動詞の形に慣れさせる。 ・tell ~ to doなどの形に慣れさせる。 | 授業態度、提出物、定期 考査 | 8 |
| | 11月 | ENJOY COMMUNICATION! 2 “How Do We Get There?” ・交通手段や所要時間についてのコミュニケーション活動 | ・外国の人々から道などを尋ねられた時に、目的地までの交通手段や所要時間についての簡単なやりとりができるようにする。 | 授業態度、提出物 | 8 |
| | 12月 | Look and Learn 2 ・文法のみまとめ (現在分詞・過去分詞を用いた色々な 用法や tell+人 to doの表現) | ・過去分詞と現在分詞を使い分けられるようにする。 ・知覚動詞の形に慣れさせる。 ・tell+人 to doの表現などの形に慣れさせる。 ・言語材料を体系的に整理させる。 | 授業態度、提出物、定期 考査 | 8 |
| 3 学 期 | 1月 | Reading Skill 2 ・必要な情報を見つける(スキヤニング) | ・スキヤニング(英文の中から必要な情報を素早く見つけ出すこと)により、キーワードや情報を適切に抜き出せるようにする。 | 授業態度、提出物 | 6 |
| | 2月 | Lesson 5 ・使役動詞 ・関係代名詞what(what+主語+動詞) | ・使役動詞の形に慣れさせる。 ・関係代名詞whatの使い方に慣れさせる。 | 授業態度、提出物 | 6 |
| | 3月 | Take a Break! 3 「イディオムクイズ」 ・英語のイディオムを知る | ・4つの英文を読み解き、各センテンスに用いられているイディオムの意味を想像して理解させる。 | 授業態度、提出物、定期 考査 | 6 |
| | | | | 合計時間数 | 78 |
| 1年間の評価法 | 授業への出席、授業中の取組の様子、試験、課題・提出物等により、総合的に判断する。 | | | | |
| 特記事項等 | | | | | |

令和5年度 都立東久留米総合高等学校 定時制 年間授業計画

| 教科 | 科目 | 対象 年次・クラス | 単位数 | | |
|-------------|---|--------------------------|--|----------------------|----------|
| 総合的な探究の時間 | 総合的な探究の時間 | 3年A | 1 | | |
| 使用教科書 | プリント等 | | | | |
| 補助教材等 | 視聴覚教材 | | | | |
| 身に付けていく力: | 進路選択に必要な知識 コミュニケーション能力 社会的マナー 進学や勤労の意欲 | | | | |
| 学期 | 月 | 単 元 | 指 導 目 標 | 評価の観点・方法 | 予定 時数 |
| 1 学 期 | 4月 | 進路について考える 勤労、職業の意義 | ・進学、就職の具体的な流れを理解する ・DVDを見て考える。 | 出席状況 プリント 授業態度 | 3 |
| | 5月 | 勤労、職業の意義 | ・DVDを見て考える。 ・調べ学習で考察する。 | 出席状況 プリント 授業態度 | 4 |
| | 6月 | 勤労、職業の意義 | ・DVDを見て考える。 ・調べ学習で考察する。 | 出席状況 プリント 授業態度 | 4 |
| | 7月 | 勤労、職業の意義 | ・DVDを見て考える。 ・調べ学習で考察する。 | 出席状況 プリント 授業態度 | 3 |
| | 8月 | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 一般教養 修学旅行事前学習 | ・読み書き、社会常識、マナーの学習 ・グループ決め ・行動表の作成 | 出席状況 プリント 授業態度 | 4 |
| | 10月 | 一般教養 修学旅行事前学習 | ・読み書き、社会常識、マナーの学習 ・大阪、京都の歴史について学ぶ ・校外学習の流れの理解 ・グループ作成 | 出席状況 プリント 授業態度 | 4 |
| | 11月 | 一般教養 校外学習 修学旅行事前学習 | ・読み書き、社会常識、マナーの学習 ・東京駅までの行き方を確認する ・大阪、京都について学ぶ | 出席状況 プリント 授業態度 | 4 |
| | 12月 | 修学旅行事前学習 | ・大阪、京都について調べ学習をする | 出席状況 プリント 授業態度 | 4 |
| 3 学 期 | 1月 | 修学旅行 修学旅行事後学習 | ・大阪、京都の文化、歴史について学ぶ | 出席状況 プリント 授業態度 | 3 |
| | 2月 | 江戸から東京 求人票の見方 | 東京の歴史について学ぶ 東京の文化について学ぶ 求人票の見方を理解する | 出席状況 プリント 授業態度 | 3 |
| | 3月 | 求人票の見方 一般教養 | 求人票の見方を理解する 読み書き、社会常識、マナーの学習 | 出席状況 プリント 授業態度 | 3 |
| | | | | 合計時間数 | 39 |
| 1年間の評価法 | 授業への出席、授業中の取組みの様子、試験、課題・提出物等により、総合的に判断する。 | | | | |
| 特記事項等 | | | | | |

令和5年度 都立東久留米総合高等学校 定時制 年間授業計画

| 教科 | 科目 | 対象 年次・クラス | 単位数 | | |
|-------------|--|----------------------------------|---|----------------------|----------|
| 総合的な探究の時間 | 総合的な探究の時間 | 3年B | 2 | | |
| 使用教科書 | プリント等 | | | | |
| 補助教材等 | 視聴覚教材 | | | | |
| 身に付けていく力: | 進路選択に必要な知識 コミュニケーション能力 社会的マナー 進学や勤労の意欲 | | | | |
| 学期 | 月 | 単 元 | 指 導 目 標 | 評価の観点・方法 | 予定 時数 |
| 1 学 期 | 4月 | 進路について考える | ・進学、就職の具体的な流れを理解する | 出席状況 プリント 授業態度 | 6 |
| | 5月 | 自己PRづくり 進路活動で重要なこと 履歴書の記入法 | ・自己PRの情報集め ・自己理解 ・講義を聞き、進路活動の重要性を理解する ・履歴書の書き方を学ぶ | 出席状況 プリント 授業態度 | 8 |
| | 6月 | 進路適性検査 面接指導 | ・進路適性検査を受け、自分の適性を知る ・面接の流れ、取り組む姿勢を学ぶ | 出席状況 プリント 授業態度 | 8 |
| | 7月 | 修学旅行事前学習面接指導 | ・広島文化について学ぶ ・面接の流れ、取り組む姿勢を学ぶ | 出席状況 プリント 授業態度 | 6 |
| 8月 | | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 面接指導 志望理由書の作成 修学旅行 | ・面接のポイントを理解する ・仮の志望理由書を書く ・グループ決め ・行動表の作成 | 出席状況 プリント 授業態度 | 8 |
| | 10月 | 履歴書指導 面接練習 修学旅行事前学習 | ・履歴書の書き方を学ぶ ・面接のポイントを学ぶ ・広島歴史について学ぶ ・校外学習の流れの理解 ・グループ作成 | 出席状況 プリント 授業態度 | 8 |
| | 11月 | 修学旅行 修学旅行事後学習 | ・広島、大阪、京都の自然、文化、歴史について学ぶ ・学習成果の集約発表を行う | 出席状況 プリント 授業態度 | 8 |
| | 12月 | 一般教養 | ・読み書き、社会常識の学習 | 出席状況 プリント 授業態度 | 8 |
| 3 学 期 | 1月 | 社会人基礎力養成 | ・社会人としてのマナー、教養について学び身に付ける | 出席状況 プリント 授業態度 | 6 |
| | 2月 | 江戸から東京 | ・東京の歴史について学ぶ ・東京の文化について学ぶ | 出席状況 プリント 授業態度 | 6 |
| | 3月 | 一般教養 | ・読み書き、社会常識の学習 | 出席状況 プリント 授業態度 | 6 |
| | | | | 合計時間数 | 78 |
| 1年間の評価法 | 授業への出席、授業中の取組みの様子、課題・提出物等により、総合的に判断する。 | | | | |
| 特記事項等 | | | | | |